

平成 25 年度

施政並びに予算編成方針

## 目 次

はじめに	1
平成25年度予算編成の基本方針	2
平成25年度予算の概要	3
平成25年度一般会計予算の歳入について	5
平成25年度一般会計予算の歳出について	8
特別会計	
国民健康保険特別会計	28
後期高齢者医療特別会計	28
介護保険特別会計	29
水道事業会計	29
下水道事業会計	30

# 平成25年度 施政並びに予算編成方針

## はじめに

平成25年3月定例議会において、平成25年度一般会計予算案をはじめ、町政の重要案件をご審議いただくにあたり、私の町政運営に関する基本的な所信を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を願うものであります。

日本の景気は、昨年末の政権交代により、明るいうねりへと変化しつつあります。国政も積極的に景気浮揚施策を展開しておりますが、箕輪町としても国政と連動し、可能な範囲の景気浮揚に向けた施策を積極的に実施してまいります。

箕輪町は、新年度も「安全・安心なまちづくり」「子育て支援・教育の充実したまちづくり」「健康づくり推進のまちづくり」という3つの分野を重点に、活力あふれるまちづくりを行ってまいります。

こうした施策を積極的な財源投入により展開し、乳幼児から高齢者などすべての町の皆さん一人一人が明るく輝くまちづくりを目指し、「住んでいて良かった」「住んでみたい」まち箕輪を実現するため積極的に取り組んでまいります。

## 平成25年度予算編成の基本方針

平成25年度予算は、「チェンジ」をキーワードに、新たに「チャレンジ」を加え、箕輪町第4次振興計画・基本構想が目指す「人・地域が輝き 創造と活力あふれるまち 箕輪」を実現させるべく目標達成に向け、着実に推進すること、安易な前例踏襲ではなく目的意識を持ち、より価値的で効果的な事業の構築を目指して、最大限の努力と知恵を発揮すること及び、「**5つの重点施策**」及び「**4つの基本方針**」を示し、編成を進めてまいりました。

5つの重点施策につきましては、まず**第1に「幼児から中学生まで一貫したひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」**を掲げ、子育て日本一の町を目指し、保育料の見直しや安心して子育てできる環境と施策の充実、小・中学校への独自施策の展開と教育環境の整備、「読育」「食育」の強化を図ることと、平成26年4月開園を目指し東箕輪保育園（仮称）の円滑な建設の推進を示しました。

**第2として「イコール or ベターの観点から、福祉水準の向上」**を掲げ、健康づくり日本一の町を目指し、みのわ健康アカデミーを土台とした健康づくりブランド化のさらなる推進、みんなで支える福祉のまちづくり、長期持続可能な福祉施策展開に向けた公平公正な受益者負担のあり方の検討を行うように示しました。

**第3として、「安全安心なまちづくり（セーフコミュニティ）の展開」**を掲げ、多くの主体の協働により、町民の全てが健やかで元気に暮らすことができる安全安心のまちづくり、人と人との信頼と思いやりによる地域の絆再生、セーフコミュニティWHO認証取得を受けて、地域への普及啓発と全町展開、災害に強いまちづくりの推進を示しました。

**第4として「元気はつらつ箕輪の大先輩」**事業を掲げ、高齢者が生涯現役で元気はつらつとして活動するための施策展開と生涯現役意識の徹底と生きがいつくりの推進を示しました。

**第5として「行財政改革の継続推進による町の体質強化」**を掲げ、少数精鋭体制での人材育成の強化による組織力向上と長期的視点での資金需要に対する財政運営及び健全化の推進を示してあります。

また、予算編成に当たっての4つの基本方針は、第4次振興計画（実施計画）の着実な実行、行政経営計画に基づく行財政改革の強力な推進、地域課題の把握と住民との協働のまちづくりの推進、実質公債比率及び将来負担比率の改善による財政健全化の推進であります。

## 平成25年度予算の概要

「安全・安心なまちづくり」「子育てしやすいまちづくり」へ

向けた積極予算

平成25年度 会計別歳入歳出予算一覧

(単位:千円、%)

会計名		本年度	前年度	比較	増減率
一般会計		8,940,000	8,150,000	790,000	9.7
国民健康保険特別会計	事業勘定	2,196,309	2,227,418	△ 31,109	△ 1.4
	施設勘定	101,055	108,028	△ 6,973	△ 6.5
後期高齢者医療特別会計		215,403	208,754	6,649	3.2
介護保険特別会計		1,732,911	1,654,646	78,265	4.7
農業集落排水処理施設特別会計		廃止	358,282	△ 358,282	皆減
公共下水道特別会計		廃止	1,051,844	△ 1,051,844	皆減
水道事業会計	収益的収入	495,404	493,364	2,040	0.4
	収益的支出	495,404	493,364	2,040	0.4
	資本的収入	25,498	39,500	△ 14,002	△ 35.4
	資本的支出	250,343	231,287	19,056	8.2
下水道事業会計	収益的収入	1,157,586	0	1,157,586	皆増
	収益的支出	1,157,586	0	1,157,586	皆増
	資本的収入	489,997	0	489,997	皆増
	資本的支出	904,057	0	904,057	皆増
合計(資本的収入支出を除く)		14,838,668	14,252,336	586,332	4.1

平成25年度一般会計当初予算額は89億4,000万円となり、前年に比べ7億9千万円9.7%増となりました。前年度対比で予算規模が増加した主な要因として、東箕輪保育園(仮称)建設事業費が計上されていることが掲げられます。平成24年

度で用地を取得し、設計に着手しているところですが、当初予算へは建設事業費として、本体や周辺環境整備費用を盛り込み、総額5億6,300万円余を計上いたしました。また、町道等の整備など地元区要望を出来る限り実現できるよう**道路舗装補修工事費と町単独道路整備事業費を前年比5,000万円ほど増額**いたしました。

平成25年度の主な事業につきましては、後段でも述べますが、**東箕輪保育園（仮称）の建設経費を平成24年予算を含めて6億7,900万円、医療費の無料化を満15歳からを満18歳まで引き上げることとした町単独福祉医療給付事業に4,742万円、利用者の増大に対応するため病児・病後児保育事業へは560万円、1,500基の防犯街灯のLED化のための経費4,100万円、セーフコミュニティ国際認証の町として整備促進のための経費756万円などを盛り込んであります。また、歳入面では、保育料を平均6.7%引下げることが盛り込んだ予算計上となっております。**

#### <平成25年度の実質的な予算規模>

平成24年度で予算化し、平成25年度で実施する事業については、繰越明許費として、平成24年度補正予算に計上してあり、役場庁舎耐震補強事業が5,078万円、東箕輪保育園（仮称）建設が9,070万7千円、県補助土地改良事業が300万円、町単独側溝整備工事が630万円、中学校トイレ改修工事が1億3,172万4千円であり、合計は2億8,251万1千円となっています。

この事業費を加えると、**平成25年度の実質的な予算規模は92億2,251万1千円**となり、平成24年度の当初予算に繰越しを加えた実質的な予算規模89億3,800万円を上回っています。

## 平成 25 年度一般会計予算の歳入について

一般会計予算款別一覧表（歳入）

単位：千円、%

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1. 町税	3,284,784	36.8	3,167,970	38.9	116,814	3.7
2. 地方譲与税	117,000	1.3	120,000	1.5	△ 3,000	△ 2.5
3. 利子割交付金	8,000	0.1	11,000	0.1	△ 3,000	△ 27.3
4. 配当割交付金	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	1,500	0.0	1,000	0.0	500	50.0
6. 地方消費税交付金	278,000	3.1	266,000	3.3	12,000	4.5
8. 自動車取得税交付金	25,000	0.3	24,000	0.3	1,000	4.2
11. 地方特例交付金	16,000	0.2	16,000	0.2	0	0.0
12. 地方交付税	1,800,000	20.1	1,730,000	21.2	70,000	4.0
13. 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
14. 分担金及び負担金	232,783	2.6	248,260	3.0	△ 15,477	△ 6.2
15. 使用料及び手数料	54,508	0.6	54,791	0.7	△ 283	△ 0.5
16. 国庫支出金	551,026	6.2	519,410	6.4	31,616	6.1
17. 県支出金	367,569	4.1	378,967	4.7	△ 11,398	△ 3.0
18. 財産収入	12,698	0.1	20,025	0.2	△ 7,327	△ 36.6
19. 寄附金	1,103	0.0	1,103	0.0	0	0.0
20. 繰入金	323,081	3.6	262,406	3.2	60,675	23.1
21. 繰越金	330,000	3.7	300,000	3.7	30,000	10.0
22. 諸収入	395,348	4.4	391,768	4.8	3,580	0.9
23. 町債	1,133,600	12.7	629,300	7.7	504,300	80.1
歳入合計	8,940,000	100.0	8,150,000	100.0	790,000	9.7

町税につきましては、欧州各国の債務危機、円高等による厳しい状況が続いてまいりましたが、景気の緩やかな回復も見られ、**個人町民税**については前年と同様な状況で推移しており前年度比9.1%の増収を見込みました。**法人町民税**については海外景気の下振れにより製造業を中心に弱めの動きとなっていますが、町内企業の状況を踏まえて前年度比15.6%の増収を見込みました。

**固定資産税**については、企業の新たな設備投資が望めないことから前年度比2.5%の減収を見込みました。

**町たばこ税**は平成25年4月1日から税制改正により税率が変わることもあり、14.1%の増収を見込みました。

町税全体では、32億8,478万4千円と前年度に比べ1億1,681万4千円、率では3.7%の増を見込みました。

**地方譲与税**につきましては、**地方揮発油譲与税**3,400万円、**自動車重量譲与税**8,300万円、合わせて1億1,700万円と前年度比300万円の減を見込みました。

**利子割交付金**につきましては、800万円と前年度比300万円の減を見込みました。

**配当割交付金**につきましては、500万円と前年同額を見込みました。

**株式等譲渡所得割交付金**につきましては、150万円と前年度比50万円の増を見込みました。

**地方消費税交付金**につきましては、2億7,800万円と前年度比1,200万円の増を見込みました。

**自動車取得税交付金**につきましては、2,500万円と前年度比100万円の増を見込みました。

**地方特例交付金**につきましては、前年同額の1,600万円を見込みました。

**地方交付税**につきましては、18億円、前年度決算見込み額、地方財政計画の状況、税収などの状況を勘案し、前年度比7,000万円の増額を見込みました。

**国庫支出金**につきましては、**児童手当負担金**、**自立支援事業費負担金**、**社会資本整備総合交付金**、**理科教育等設備整備費補助金**など、事業実施に伴う国庫負担金及び国庫補助金、委託金合わせて5億5,102万6千円を見込みました。

**県支出金**につきましては、**児童手当県負担金**、**自立支援事業費県負担金**、**参議院議員選挙費委託金**などを見込み、合わせて3億6,756万9千円と前年度とほぼ同規模となりました。

**財産収入**につきましては、**土地建物貸付収入**及び**基金の運用収入**で、総額1,269万8千円を見込みました。前年度に比べ732万7千円の減となりましたが、主な



要因は、公園墓地造成に伴う貸付収入が皆減となったことによります。

**繰入金**につきましては、活力あふれる元気なまちづくりを推進するための積極的な財源として、財政調整基金からの繰入を3億円見込みました。

**繰越金**につきましては3億3,000万円と前年度より3,000万円の増を見込みました。

**諸収入**につきましては、総額3億9,534万8千円を見込み、前年度とほぼ同規模となっています。

**町債**につきましては、東箕輪保育園（仮称）建設事業に充てる保育園建設事業債、長田地区自然災害防止工事に充てる町単独治山事業債、町道の改良・舗装補修工事等に充てる地方道路等整備事業債、小型動力ポンプ付積載車などに充てる消防施設事業債などを見込みました。

なお、新年度も地方交付税の財源不足を地方の起債としてまかなうため発行される**臨時財政対策債**を前年同様の4億7,000万円見込んであります。

町債総額は、11億3,360万円と、前年度より5億430万円増加しましたが、増加の要因は保育園建設事業債となっております。

## 平成25年度一般会計予算の歳出について

一般会計の款ごとの一覧は次の表のとおりです。

### 一般会計予算款別一覧表（歳入）

単位：千円、%

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1. 議会費	107,213	1.2	108,793	1.3	△ 1,580	△ 1.5
2. 総務費	972,188	10.9	932,950	11.4	39,238	4.2
3. 民生費	2,786,992	31.2	2,212,938	27.2	574,054	25.9
4. 衛生費	1,082,041	12.1	1,098,880	13.5	△ 16,839	△ 1.5
6. 農林水産業費	513,648	5.7	486,403	6.0	27,245	5.6
7. 商工費	474,287	5.3	520,975	6.4	△ 46,688	△ 9.0
8. 土木費	913,255	10.2	777,732	9.5	135,523	17.4
9. 消防費	329,274	3.7	327,843	4.0	1,431	0.4
10. 教育費	767,375	8.6	744,731	9.1	22,644	3.0
11. 災害復旧費	3,200	0.0	0	0.0	3,200	皆増
12. 公債費	945,527	10.6	893,755	11.0	51,772	5.8
14. 予備費	45,000	0.5	45,000	0.6	0	0.0
歳出合計	8,940,000	100.0	8,150,000	100.0	790,000	9.7

この後は、第4次振興計画に掲げられた7つの「まちづくりの柱」に沿って、特別会計で計画する一部事業も含めて申し上げます。

#### 1 ふれあいを深め、みんなでつくる協働のまちづくり

平成21年12月14日に取り組み宣言以来、多くの町民の皆さんと協働で取り組みました安全・安心のまちづくりの国際認証であります「セーフコミュニティ」の認証を平成24年5月12日に取得することが出来ました。

平成25年度は、「セーフコミュニティ」の認証取得を更なる安全・安心確保の出発点として、「地域の絆」「協働」「継続」をキーワードに認証取得により構築した仕組みを全町的に水平展開し、「セーフコミュニティ」を基本とした協働のまちづくりを推進してまいります。

協働のまちづくりとしては、平成16年度に創設した町税の1%相当を地域に合った活性化事業に利用できる**地域総合活性化事業交付金(1パーセントルール)**のうち、昨年度から小規模区の分担金負担軽減のために交付している**公共土木関係工事分担金部分の拡充を図り、限度額を増額**するほか、区事務支援金や緊急事案対応分を予備費に留保した形で予算化し、より活用しやすい制度といたします。

**箕輪町まちづくり基本条例**の制定に向けて、住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法であるワークショップを取り入れながら、広く町民からの意見を聞く機会を設け、「**町民主権**」の**条例づくり**を行います。

経済情勢は、明るい兆しが少し見えてきたものの、依然として雇用をとりまく状況は厳しいものとなっております。国の緊急雇用対策に基づいた雇用の創出と、離職を余儀なくされた失業者などの雇用対策にかかわる**臨時職員雇用経費**を引き続き計上いたしました。

**外国人の生活支援**の一環として、庁舎内に外国人生活支援相談員を配置して、配布文書等の翻訳、来庁者通訳、就学児童生徒及び保護者の通訳など、外国人居住者に対するサービスの向上、快適な箕輪への定住を目指し、庁舎開庁時間中であればいつでも対応できる体制を引き続き実施してまいります。

町民の皆さんの生活に密着した**行政関係情報**を、よりタイムリーにわかりやすく・きめ細やかに発信するため、引き続き広報誌「みのわの実」の発行・町ホームページ・音声告知放送・伊那ケーブルテレビによる自主番組の放映や文字情報放送・月1回地域のみのわ新聞へ「広報 箕輪町のすがた」の掲載を行ってまいります。

引き続き、顧問弁護士による**無料法律相談**を継続して実施し、町民の皆さんの不安解消の機会を設けます。

#### <行財政改革の継続推進による町の体質強化>

箕輪町の自治体運営を200人規模で行うことを目標に、**少数精鋭体制の強固な組織**とするため、職員の人材育成と適正な処遇を図り、職場・職場外研修、国・県・東京都豊島区への派遣研修、ビジネスリーダー養成を目指すワークショップ講座・人材マネジメント研修等への派遣研修を推進してまいります。

平成25年度の**組織体制**といたしましては、セーフコミュニティの推進や防災・防犯・交通安全対策の充実強化のため、総務課に危機管理・セーフコミュニティ推進室を付置するとともに、子ども未来課では、子育て企画係と子育て支援係を統合し一係とすることにより、子育て支援をより強化なものいたします。

平成25年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	セーフコミュニティの推進	7,562
継続	地域総合活性化事業交付金制度の充実 地域活性化のため、協働のまちづくりとして、区が自ら行う事業に対して助成する。(区事務支援金、緊急対応分含む) 区分担金負担軽減のための制度の拡充	43,500
継続	雇用創出のための賃金等	4,361
継続	外国籍住民生活相談業務	1,776
継続	国、県、豊島区等への職員研修派遣	16,873
継続	地域集会施設建設、改修事業補助金	1,755
新規	評価替えに伴う標準宅地鑑定評価委託	12,197

2 誰もが健やかに暮らせるぬくもりのあるまちづくり

<健康づくりの推進>

「誰もがいきいき、みんなで支える福祉のまちづくり健康長寿の里 箕輪町」を目指して、特徴のある健康づくり施策を継続して実施してまいります。

箕輪町の健康づくりの特徴は、コミュニティづくりにあります。9年目を迎えるみのわ健康アカデミーの開講、アカデミーOBとの連携による運動ボランティアの育成、箕輪町食生活改善推進協議会との連携による食育ボランティアの育成等、介護予防拠点施設を活用した健康コミュニティづくりの推進を図ります。

新年度においては、この健康コミュニティづくりの拠点施設の一つで、利用頻度の高いげんきセンター南部のトレーニングマシンを更新します。

一方では、町民の生活習慣の変化と多様化により、高血圧、脂質異常症、糖尿病等の生活習慣病が増加し、これらによる心疾患、脳卒中、慢性腎臓病等の重篤な疾患が発症しています。また、これらの生活習慣病の増加は、国保医療費の増加を生み課題となっています。疾病は予防と早期発見が重要です。このために循環器健診やがん検

診の無料節目健診、個人負担金の軽減、受診会場や日程等を配慮し検診受診率の向上を目指すとともに、健診により生活改善の必要な方への保健師、管理栄養士による保健指導を強化します。

**予防接種事業**としては、平成24年度中途から不活化ポリオワクチン予防接種が取り入れられ、これも含めた四種混合ワクチンへの移行が行なわれました。新年度からは、子宮頸がん予防ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの予防接種が任意接種から定期接種となりますので、これらの必要経費を計上いたしました。

**成人歯科保健事業**としては、健康・長寿をねらい、定期的な歯科健診により歯の大切さを認識してもらい、生涯現役の健康な体をつくっていくため、20歳から60歳までの10年ごとの節目の歯科健診を無料で実施する**歯科ドック事業**を引き続き実施してまいります。

また、経済の低迷やストレス社会の中で、心や身体のバランスを崩しやすい状況が生まれています。セーフコミュニティの認証を受けたことを契機に、新年度から町の皆さんが、心や身体の健康にかかる心配ごとを専用のフリーダイヤルで**365日24時間電話相談できる事業**を取り入れるとともに、引き続き心や身体の健康づくり講演会による啓発や、こころの健康相談を実施してまいります。

**子育て支援のための保健事業**としては、妊婦が健診費用の心配をせず、出産までに必要とされる14回の健診、4回の超音波検査及び血液検査等が受診できるように、健診費用を補助する予算を引き続き計上いたしました。

また、妊娠期間中の口腔内の病気や虫歯が、胎児にも影響を及ぼすことに着目し、妊婦が無料で歯科健診を受けられる**妊婦歯科健康診査「プレママ歯ッピー事業」**を新年度から新たに実施するよう必要経費を計上しました。

**不妊治療費助成事業**は、助成額を1人10万円で期間を5年間として引き続き実施してまいります。

**新生児の全戸訪問事業**は、保健師、助産師により育児相談等を引き続き実施してまいります。

低出生体重児に係る医療費の給付等事業が、地方分権の推進にかかる一括法により、市町村事務となりました。該当児及び母親への保健師による訪問事業は既に実施しておりますが、未熟児養育医療費給付は新年度から町の給付となります。

子育て情報や子どもの成長記録が残せる**箕輪町オリジナル版の「子育てメモリーブック」**は好評であり、新年度も引き続き出産記念品として配布してまいります。

**高齢者の健康づくり**では、肺炎球菌による肺炎予防のための予防接種に対する補助を計上いたしました。また、人間ドック・循環器健診の補助を引き続き実施してまいります。

## <子育て支援の推進と安心して子育てのできる環境整備>

長引く景気低迷、雇用情勢の悪化等厳しい経済状況を踏まえ、保護者負担の軽減のため保育料の見直しを行い、低所得者層に配慮した、平均6.7%の保育料引き下げを実施します。また、核家族化の進展の中、仕事と子育ての両立支援のため、病児・病後児保育の充実を図り、安心して子育てができる町づくりを推進します。

更に、発達支援を必要とする子どもが増加傾向にあるため、保育園に療育支援システムを導入するとともに発達支援専門員を配置し、一人ひとりの発達を見極め、療育支援、就学を見据えた親支援等、公平で適切な療育支援を推進します。

東箕輪保育園（仮称）建設事業は、地権者、隣接地権者はじめ地域の皆様のご協力により、用地取得や基本設計が進んでいるところですが、新年度は、本体の建設を行い、地域の方々に見守られぬくもりのある新保育園の平成26年4月開園を目指します。

また、各保育園の未満児保育室と給食室にエアコンを設置し、健康に配慮した安全安心の保育を行います。

昨年実施した住民満足度調査では、子育て施策に対して、町の皆さんから一定の評価をいただいておりますが、保育料の引き下げ、安心して子育てできる施策の充実と環境整備等、トータル的な子育て支援を更に推進し、「日本一子育てしやすい町」を目指します。

## <イコールorベターの福祉水準の堅持>

保健・福祉・医療が他市町村と「イコールorベター」の水準を堅持するべき必要な事業を計上しました。

第2期箕輪町総合福祉計画（計画期間平成24年度～平成26年度）に基づき、地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉について施策展開をまいります。

福祉医療につきましては、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう医療費の一部を助成する対象者を、新年度から高校3年生相当（満18歳）まで拡大することと、療育手帳所持者でこれまで対象外でありましたB2該当者も新年度から受給対象者とするなど制度の充実を図りました。

なお、診療報酬明細書等1件あたりにかかる受給者負担につきましては、これまで300円に据え置いてきましたが、適正受診を促す観点から県の指針にあわせて、新年度から500円に引き上げることとしました。

**地域福祉**では、平成24年度に地域支え合い体制づくり事業として社会福祉協議会に委託した、認知症者を地域で支えあう「**すまいるサポート事業**」は、これまでに37事業所及び団体の登録をいただいております。引き続き登録団体の拡充を図ります。また、「**住民支え合いマップ**」を災害時のみではなく平常時にも活用するモデル事業を、社会福祉協議会と木下区の協力を得て進めてきており、地域住民・行政・社会福祉協議会と協働の取り組みとして、このマップの有効活用に努めます。

平成23年4月に上伊那8市町村で設置した、認知証の高齢者や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などを行う「**上伊那成年後見センター**」につきましては、平成24年度はこれまでに736件の利用がありました。引き続き認知症や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などに取り組みます。

**高齢者福祉**につきましては、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、地域包括支援センターを核として、介護予防、認知症予防、生きがい対策など包括的に進めてまいります。また、高齢者の生きがいと健康づくりへの取り組みを支援するため、高齢者の各種活動やシルバー人材センターへの支援を引き続き行います。

高齢者・障がい者のデイサービスセンターとして、また町社会福祉協議会の事務局として使用しているゆとり荘は建設後20年を経過して外装関係に傷みが出てきたため、平成24年度は屋根塗装を行いました。新年度は外壁の補修工事を行いません。

**障がい者福祉**につきましては、平成25年4月から障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正され、新たに難病の方が対象となります。障がいのある方、及び難病の方が自立して日常生活や社会生活を営むことができるよう、引き続き各種福祉サービスや地域社会資源の開発と育成、そして利用者の状況に応じて柔軟に対応できる地域生活支援事業を地域の協力を得ながら実施してまいります。

地方分権の推進にかかる一括法により、新年度から障がい児に対する育成医療が市町村事務となり、育成医療費は町からの給付となります。

#### 平成25年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	みのわ健康アカデミー第9期生 健康ブランド化事業(アカデミーOB会・健康GT)	15,368
新規	げんきセンター南部 トレーニングマシンの更新	9,008

拡充	<p>受診者増と医療費減を目的に、各種検診個人負担金の軽減</p> <p>胃がん、子宮頸がん 国保・後期高齢 600円→500円</p> <p>乳がん(マンモ) 国保・後期高齢 1,400円→1,000円</p> <p>前立腺がん 国保・後期高齢 2,100円→500円</p> <p>国保・後期高齢以外 2,100円→1,000円</p> <p>肺がん 7,140円→4,000円</p> <p>(5歳ごとの節目検診は国保7,140円→1,000円、 国保以外は7,140円→2,000円)</p> <p>胃がん・大腸がんは、10歳ごとの節目検診は無料</p>	31,186
新規	24時間対応健康医療電話相談事業	3,612
継続	成人歯科ドック事業	1,440
継続	妊婦健康診査事業	24,251
新規	妊婦歯科健診事業(プレママ歯ッピー事業)	570
継続	病児・病後児保育事業の充実	5,600
新規	<p>発達支援事業</p> <p>療育支援システム導入並びに発達支援専門員の配置により、公平で適切な療育支援を推進</p>	910
継続	<p>次世代育成支援事業・</p> <p>養育支援訪問事業委託・子育て支援ネットワーク協議会</p>	729
新規	<p>(仮称)東箕輪保育園の建設事業</p> <p>施工監理業務委託、建設工事、備品購入等</p>	563,848
新規	保育園未満児室等エアコン設置	8,345
継続 拡充	<p>町単独福祉医療費給付事業</p> <p>県補助事業で実施している福祉医療給付金事業に町単独で上乗せ給付(新たに高校卒業(満18歳)までの児童、療育手帳B2所持者まで拡大)</p> <p>受給者一部負担金を300円から県事業受給者負担金500円に引上げ</p>	47,416
新規	保健センターホールエアコン設置等工事	2,426



### 3 住みやすく人にやさしい都市基盤の整備を目指したまちづくり

公共土木事業関係につきましては、各区からの強い要望により、緊急かつ効果のある生活道路を中心に舗装修繕・側溝改修は、町道 304 号線、町道 716 号線ほか 39 路線、道路改良は、町道 12 号線、町道 317 号線ほか 8 路線など昨年度より多くの箇所を事業実施します。なお、道路の凹凸などの緊急補修につきましては、迅速に対応することに努め、事故の原因とならないように取り組めます。

また、耕作土などの流出により幅員が狭くなっている箇所などの道路維持や協働による道路・河川・公園等の維持管理の適正化、早期対応を推進します。

このほか、社会資本整備総合交付金事業や県営事業により、町道 508 号線や広域農道の舗装の悪い部分の修繕や交差点改良、橋梁長寿命化修繕計画に基づく詳細設計業務等を計画的に進めます。

さらに、住宅地拡大に伴う生活道路の整備として、狭あい道路整備等促進事業により 4 m に満たない道路幅員の拡幅整備を引き続き進めます。

河川環境整備事業として町の管理する準用河川を中心に堆積土の除去など計画的に環境整備を進めてまいります。

都市計画事業につきましては、社会状況の変化による都市計画道路の未着手路線の見直し作業を進めるとともに、町の素晴らしい風景を残すために景観計画の策定にも着手します。

上水道事業につきましては、老朽管の布設替工事は今後は V P 管（硬質塩化ビニール管）への更新を計画的に推進していきます。また第 5 次拡張事業につきましては、長田配水系の配水区域を拡大し、安定した水道水供給を図るための、配水管の布設工事等を推進してまいります。また、大原配水池に引き続き、富士山配水池、南小河内配水池の耐震診断を実施いたします。

上水道は重要なライフラインである事から緊急時においても迅速に対応し、町民の皆様が安全で安心して飲むことのできる良質な水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業につきましては、平成 23 年度より着手した雨水排水計画による天竜川右岸第二排水区（沢・大出地区）について、さらに幹線排水路の延伸を行い浸水被害の解消にむけて事業を実施していきます。

また、下水道への加入、接続率の向上のため重点的、積極的な取り組みを行うとともに、未普及箇所等で緊急整備の必要な箇所については、引き続き実施するとともに、下水道接続困難地域への対応についても検討してまいります。

また、農業集落排水処理施設特別会計と公共下水道特別会計は、経営の状況を明確

にするため、新年度から地方公営企業法に基づく企業会計方式に移行し、下水道事業会計といたします。

### 平成 25 年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	道路等の舗装・側溝等補修 各区要望による町道 304 号線、町道 716 号線ほか 39 路線	72,070
継続	道路等の改良整備事業 各区要望による町道 12 号線、町道 317 号線ほか 8 路線の改良工事費等	46,050
継続	社会資本整備総合交付金事業 町道 508 号線道路改良、橋梁長寿命化修繕詳細設計業務他	93,337
継続	狭あい道路整備等促進事業 町道 555 号線、町道 127 号線道路改良工事及び測量設計委託	8,600
新規	河川環境整備重機借上料 (樅の木川、判の木沢他)	1,700
新規	都市計画道路見直し業務、景観計画策定業務	6,150
継続	水道事業会計への操出 消火栓工事負担金等	7,724
継続	【上水道事業】老朽管布設替工事 配水管布設替(町道 55 号線、377 号線他)	28,952
継続	【上水道事業】上水道第 5 次拡張事業 配水管布設工事(町道 184 号線、3 号線、大出減圧弁他)	59,366
継続	下水道事業会計への操出 農業集落排水事業分 223,550 千円 公共下水道事業分 523,100 千円	746,650
継続	【下水道事業】雨水排水計画による排水路設置工事	188,000
継続	【下水道事業】公共下水道施設長寿命化	7,000
新規	【下水道事業】公共下水道施設耐震診断	8,000

## 4 環境にやさしく、安心、安全、快適に暮らせるまちづくり

### <環境関係>

「環境」は快適に暮らせるまちの重要な条件の一つです。ごみの減量化・資源化に努め持続可能な循環型社会を構築し、**美しい箕輪町を未来の子どもたちに繋げるよう**引続き環境づくりに邁進してまいります。

**ごみの減量化と資源化**には住民の皆さんにたいへんご協力いただいているところであり、ごみの排出量は減少傾向にあります。こうした中、**生ごみ処理モデル事業**は、平成21年度から木下北城地区で開始し、平成23年度には八乙女地区、平成24年度には松島地区に拡大いたしました。地域と連携し自発的なごみの減量化・資源化の行動としてさらに意識の高揚を図るとともに、今後の方向性について検証し検討してまいります。また、上伊那広域連合による新ごみ中間処理施設の広域化施設も計画が進んでおりますが、さらなるごみの減量化に取り組み、適切な施設規模となるようにしなければなりません。

**ごみの不法投棄**は環境の悪化とごみに対する意識の低下に繋がるため、町民一体となって防止に努め、啓発活動を進めてまいります。

地球温暖化防止のため自然エネルギーの活用を推進すべく、国の補助とは別に**住宅用太陽光発電設備に対する補助**を継続してまいります。

箕輪町も地球温暖化防止対策に取り組むことを目的とした環境マネジメントシステム「**エコアクション21**」に引き続き取り組んでまいります。

水資源の保護については、町ではすでに水資源の保護条例が制定されておりますが、県の条例化を注視しつつ、引続き安心した水の確保に努めてまいります。

地域交通対策として**みのちゃんバスの運行**は、平成23年10月から高齢者の運賃無料化を図り、年間延べ乗車人数が3万人を超えています。さらに利便性が向上するよう運行経路などの検討を行ってまいります。

また、JR伊那松島駅については、防犯上・町の顔としてのイメージダウン・利便性などの観点から、**駅を中心とした町の活性化や飯田線の利用促進**を図るため、人員を配置することといたしました。駅舎の利活用については、広くアイデアを募りながら、今後も検討してまいります。

## <防災対策>

防災、減災対策は、「自助・共助・公助」の考えを推進するため強力に施策を展開します。

大規模災害が発生した時に、まず対応できるのは身近な地域住民組織であることから、町内全15区で組織しました自主防災組織の組織充実のための支援を行います。また、防災体制の充実と地域防災力の向上を目的に**防災士を養成**いたします。

**同報系防災行政無線のデジタル化工事**が完了し、**全国瞬時警報システム（Jアラート）**との自動連動や**表示機能付戸別受信機の設置**など、有事の際に確実に町民に情報を伝えることが出来るようになりました。これからは、訓練等を通じて積極的に同報系防災行政無線を運用してまいります。

役場と町内小中学校に設置しました防災倉庫内の備蓄品を充実するため、災害時に使用可能な**マンホールトイレを整備**します。

町内の**防犯灯**について、電気使用量の軽減による地球環境への配慮、管理している地区の電気料等の負担軽減をねらい、順次LED化するよう計画的に進めています。平成25年度は、**約1,500基のLED化**を実施し、平成26年度には町内すべての防犯灯のLED化を目指します。

## <消防関係>

**消防体制の充実強化**を図るため、消防ポンプ車を第2分団上古田に、軽積載車を第2分団、第6分団に配備してまいります。

新年度より**既設消火栓の専門業者による調整点検**を行ってまいります。ホース、消火栓器具箱等購入費の補助の継続、消火栓の新設工事を計画的に進めます。

平成25年度に自治体消防発足65周年を迎えるにあたり、全国大会へ参加するとともに、町のポンプ操法大会を記念大会として開催します。

消防力の強化充実を図ることをねらいとして、上伊那全体での消防広域化の協議が進められています。平成24年7月に上伊那消防広域化協議会が設立され、伊那消防組合と伊南行政組合を統合し、平成27年4月の発足を目標とした新たな消防組織の検討が進んでいます。

平成 25 年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	生ごみ資源化モデル事業 モデル地区を拡大設定して生ごみの資源化減量化の推進	5,796
継続	ごみ・資源物収集業務 可燃・不燃・資源ごみの計画収集	57,666
継続	廃食用油リサイクル推進事業(BDF精製事業)	2,094
継続	新エネルギー活用推進事業 住宅用太陽光発電の導入者に対する支援、1件140千円限度 (25年度 50件 24年度 30件 23年度 15件)	7,000
新規	JR伊那松島駅管理経費	5,000
継続	自主防災組織育成の支援拡大	1,500
新規	防災士養成補助金	249
新規	災害用マンホールトイレ購入	343
継続	災害対策用ヘルメット購入	381
継続	防犯街灯LED化工事	41,000
継続	ポンプ車1台及び軽積載車2台	28,752
継続	消火栓新設・移転取替工事	5,533
新規	消火栓点検調整事業 120基	1,260
新規	自治体消防発足65周年記念事業	440

5 創造と活力に満ちた産業を育てるまちづくり

<農林業の振興>

「農産物直売所にこりこ」に搬入される農産物や、「信州みのわのうさんぶつかこうじょ」で製造される加工品の流通と販売ルート開拓のためのセールスプロモーション

活動を積極的に行ってまいります。

また、**箕輪町健康グリーンツーリズム事業**は、都市と農村との交流として都市に住む人々の生活ニーズに対応できるよう、更に充実した内容で提案してまいります。併せて、地域食材を学校給食へ供する取り組み、町内料飲店の商品（メニュー）開発につながる取り組み、農産物の産地化やブランド化につながる取り組み、更には、他の生産地との差別化を図るねらいで、**町内産農産物の機能性の分析**を行うなど、町の農業振興のあり方を模索してまいります。

**遊休荒廃農地の有効活用モデル**としての「赤そばの里」は、既に新しい観光資源としても定着してまいりました。今後は、赤そばの増産に向け、白そばとの交配による影響分析調査を導入するなど町内の作付け適地の選定を行ってまいります。

農業振興の基幹組織である「**箕輪町農業支援センター**」は、町の農業振興のビジョンづくりに貢献できるよう組織自体の強化と体系化に取り組んでまいります。特に、農産物直売所や農産物加工施設などの利活用、農地利用集積による観光・体験農園の経営、また、箕輪産農産物の産地化やブランド化など、今後の農業振興のあり方を模索検討し、実践できる組織づくりを目指していきます。

現在、「**地域農業マスタープラン（人・農地プラン）**」策定作業を進めていますが、これに併せて、この町での農業経営を希望しIターンなどで永住する皆さんへの支援（新規就農総合支援事業交付金・農業インターン事業補助）を強力に進めてまいります。また、町内およそ34.6haの遊休荒廃農地解消に向けて、引き続き農業委員会やJAと連携協力して現地調査と対策活動を実施してまいります。

**土地改良事業関係**では、各区から要望があった農業用水路等の改修工事について、特に緊急性の高いものから順次進めてまいります。併せて、土地改良区が維持管理主体となる水路等の改修工事への助成をするなど農業施設の適切な維持管理を図ってまいります。また、平成24年度に東箕輪三区に結成されました地域の手で農地・農業用水や地域環境を守る自主活動組織について、引き続き支援を行ってまいります。中井筋土地管理組合が維持管理する天竜川頭首工の改修工事は、新年度中の着手を目的に測量設計を進めております。

**森林や農地の保全**のため、森林の多面的機能の維持保育や除間伐に対して里山整備事業を活用し補助金を交付してまいります。特に、“切捨て”から“搬出”へと間伐の実施方法の変更による、間伐材の搬出に要する作業道の開設や作業路網の整備改良活動に対する助成を行なってまいります。

また、平成21年度から進めてまいりました、ながた自然公園一帯の防災機能を高

めるための治山工事は、新年度完了の予定となります。

さらに、**松くい虫の被害**が三日町上棚地区まで北上したことにより、監視体制の強化と早期発見、早期防除対策（伐倒くん蒸処理）を実施してまいります。

**有害鳥獣被害対策**として、野生獣進入防止柵を福与地区に延長3.9 kmにわたり設置してまいります。また、近年のニホンジカによる農作物や森林への食害防止対策として個体数調整は捕獲要請数が355頭となり、箕輪町猟友会に活動謝礼金を交付し、捕獲作業の支援と捕獲後の新たな埋設穴（残渣処理場）確保に努めてまいります。

#### <商工業の振興>

持続的な経済成長を支援するため、企業の設備投資に対する各種助成制度と制度資金の周知と活用を図り、中小企業や商店の経済活動の支援をしてまいります。

**商工会**とは、産業経済振興施策の共有化を図り、ナゴヤメッセ展示会出展等の各種事業の実施など連携し取り組んでまいります。また、中心市街地商店街の活性化を模索する**TMOへの支援**を引き続き行うとともに、商工業基盤の更なる安定化と勤労者の福利厚生への支援と利便を図ってまいります。

地域経済の活性化と町民の皆様の居住環境の質的向上をねらい創設された**個人住宅リフォーム補助制度**は、導入3年目となります。下水道の個人住宅へのつなぎ込みへの利用など、地域経済への波及効果が見込まれることから引き続き実施してまいります。

#### <観光の振興>

町の農村資源を活用して、グリーンツーリズムによる都市と農村の交流推進のため、「**健康幸せツアー**」を広く発信実施し、都市部からの誘客を図ってまいります。昨年度設立された上伊那北部観光連絡協議会では、これをモデルにして、構成団体である**辰野町、箕輪町、南箕輪村の上伊那北部エリアの観光資源**を共有した新しい観光スタイルでの振興策を模索していきます。

引き続き、町の貴重な観光資源としての赤そばの里、萱野高原、ながた自然公園、箕輪ダムもみじ湖等の環境整備を進めてまいります。箕輪ダムもみじ湖周辺へはベンチ・テーブルの設置や枯損木の除去ともみじの補植を行ってまいります。

昨年度、ながた自然公園に隣接する民有地（42,656㎡）を取得したことにより、ながた荘とながたの湯を含めた**ながた自然公園一帯のリニューアルプラン**の策定作業を進めてまいります。

2013みのわ祭りは、昨年に引き続きみのわ天竜公園と近傍の工専用地区道路を  
主会場に、今まで以上に参加しやすい祭りとして実施してまいります。

### 平成25年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
新規 継続	農業振興調査関係事業	
	新規:農産物セールスプロモーション事業	3,689 千円
	新規:農産物機能性分析(見える化)事業	1,870 千円
	継続:健康グリーンツーリズム事業	3,129 千円
	継続:地産地消イベント開催	1,340 千円
	継続:人・農地プラン作成事業	656 千円
継続	赤そば増産活動補助金	630
新規	そば交配等影響分析調査	300
新規	新規就農総合支援事業交付金 3人	4,500
継続	区要望関連水路等改修工事	7,840
新規	農地・水保全直接支払い交付金事業負担金	1,159
継続	町単独治山事業	
	長田地区自然災害防止事業(公園工区2号線) 区要望か所対応事業	34,564
継続	松くい虫被害木伐倒駆除くん蒸業務委託	2,100
継続 拡充	鳥獣害対策事業(有害鳥獣駆除)活動等謝礼金	5,274 千円
	鳥獣被害対策 野生獣(鹿・猪)侵入防止柵整備事業補助金	13,650 千円
	福与地区 延長 3.9km 総事業費	19,500 千円
継続	制度融資保証料補助金	23,000
継続	工場等設置事業補助金	28,000
継続	町商工業振興資金利子補助金	13,000
新規	ナゴヤメッセ展示会出展負担金	180



継続	TMO 補助金	3,330
継続	住宅リフォーム補助金	10,000
新規 拡充	ながた周辺リニューアルプラン策定業務委託	3,500

## 6 豊かな文化を育み、次世代を担う人材を育てるまちづくり

### <就学前の子ども育成>

幼児期の環境が生涯にわたって生きる力に大きな影響を及ぼすことを踏まえ、「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」の柱を、運動あそび、英語あそび、読育、食育の4つに据え、子どもの発達年齢に合わせて総合的に取り組んでまいります。

これらの事業は導入から概ね10年目を迎え、絵本に親しんだり、活発に遊ぶ子どもたちの姿が見られ、町内外から評価をいただいております。また、長野県内において、運動プログラムの導入が進んでいます。

新年度は、幼児英語教育の専門家による講演会や意見交換会による「英語あそび」の充実や、保育園の書架設置、図書館や学校図書館司書との連携により、保育園での絵本の貸し出し事業等「読育」の推進を図ります。

更に、「いきいき保育創出事業」の継続により、各保育園の創意工夫による「ひと味ちがう箕輪の子ども育成」に向けたそれぞれの特徴ある諸活動が、明るく前向きにかつ効果的・持続的に展開されることとなります。

### <学校教育>

**学校教育**では、「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」に継続して取り組んでまいります。小学校の1、2年生を対象とした「**運動あそび**」は8年目を迎え、引き続き運動保育士を配置し、定量的、定性的な効果測定についても研究してまいります。

**英語教育**につきましては、平成23年度から小学校5、6年生に英語活動が教育課程に組み込まれ、箕輪町では新たな取り組みとして、小学校全学年に英語学習プログラム(レシピ方式(PLSシステム®))を導入し3年目を迎えます。また、中学校1人、小学校3人、保育園1人の外国人指導者体制を維持し、平成24年度に引き続き英語担当教員の海外研修を実施することで、指導力の向上を図ってまいります。これらの

国際感覚豊かな箕輪の子ども育成の成果目標は、小学校卒業時に外国人と日常会話ができるようになることを目標としています。

**読育の推進**につきましては、学校図書館に司書を引き続き配置し、読書環境の整備と町図書館と小学校の図書館を繋いだネットワークの活用を図りながら推進を図ります。

中学生の学力向上を図るため、数学・英語・国語の補助教員継続配置する一方、小中学校共に増えつつある介助・支援を必要とする児童・生徒のために介助員・支援員を継続して配置し、きめ細やかな対応に努めます。

平成21年度から始めた「**学校教育振興交付金**」は、町独自の取り組みとして継続し、新たな事業と合わせて効果を図ってまいります。

小中学校における教育備品の整備として、理科・算数の教育用品について積極的に補助事業を活用して継続的な整備を図ります。

豊かな発想や思いやりのある心を育むための「ものづくり教育」につきましても引き続き取り組んでまいります。

学力向上のための新たな取り組みとして、「**スタディサポート事業**」を通じて、放課後学習等の事業を進めたり、教員の先進地研修、豊島区等との教育連携を計画していきます。

学校施設の整備につきましては、平成24年度で予算化し平成25年度で実施する、**中学校トイレ改修**を予定しています。

平成25年8月は、西駒ヶ岳遭難の発生から百年を迎えます。遺族を中心とした偲岳会の支援及び、記念講演会の開催や記念誌の発行を支援していきます。

平成24年度に全国で発生した小学生の通学途上における交通事故を受け、箕輪町でも通学路の一斉点検を実施し、安全対策を行ってまいりましたが、引き続き「**子ども目線の通学路安全マップ**」の取り組みや、**安全対策工事等**を行ってまいります。

### <生涯学習事業>

町民一人ひとりが自ら進んで学習をしてきた成果発表の機会として、**みのわ町民文化祭**を開催し、生涯学習の推進を図っていきます。

また、**男女共同参画社会**の実現に向け、平成24年度に作成した男女共同参画基本計画に基づき展開を図ってまいります。

「**元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業**」は、多くの高齢者の皆さんに理解していただき、事業の展開が図られています。地域通貨の「箕」も地域活性化のために取扱店で利用され、町内商業者の活性化も期待されています。更に、各地域への出前講

座等に取り組み、地域の連携と絆の強化を一層図ってまいります。

昨年から取り組みました**婚活事業「ハッピーサポートみのわ」**につきましては、女性の参加者が少なかったため、今後は広範囲に情報提供を行い、多くの女性に参加していただき、積極的に結婚のサポート事業を展開してまいります。

これからの公民館活動に、さらに磨きをかけていくため、**公民館運営審議会**に方向付けをお願いし、あるべき姿を模索していただいております。

また、公民館・郷土博物館・図書館は昨年に引き続き、三館のそれぞれの特徴を生かし、バラエティに富んだ講座を企画し、各館の資源を共有化し町民の皆さんに参加・体験していただける**三館連携事業の推進**を図ってまいります。

自主事業につきましては、町民の皆さんにジャズの世界をお届けし、親しんでいただける企画を進めてまいります。

**フェンシング**を通して、町の活性化と住民協働により全国からの選手を歓迎し、(財)地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」による第6回全国カデ・エペ選手権大会を(社)日本フェンシング協会と連携して開催、平成25年度からこの大会に合わせて「全国ジュニア・エペ選手権大会」を開催し、「**フェンシングの町箕輪**」のPRと地域の活性化を図ってまいります。

町民がスポーツを通し健康で連帯感に満ちた豊かな生活を送れるよう、生涯にわたるスポーツ活動の充実、社会体育施設を安心して利用できる環境整備のため、社会体育館バレーボールコートライン改修及び町民体育館アリーナの水銀灯器具取替え、さらにながたドームのフェンス改修工事等を実施してまいります。

開館から**40周年の節目の年を迎える博物館**では、40周年記念事業をはじめ、博物館事業を積極的に展開し、文化力の更なる向上を図ります。

文化財保護事業では、町を代表する伝統芸能である**古田人形の整備**(修繕等)を行うなど、各種文化財の保護に努めます。また、**東山山麓歴史の道事業**では、今後の普及・活用について重点的な検討を行います。

**図書館事業**では、乳幼児からお年寄りまで誰でもが本に親しみ、知る楽しみを得られるよう資料の充実や活用に努めます。さらに、読育推進のため、保育園や小中学校との連携を強化すると共に、読育の担い手である読育ボランティアの育成に継続して取り組みます。

世代間交流施設は絵本コーナーとして、絵本の読み聞かせや昔ばなし、手遊びなどに活用すると同時に、スクリーン等を活用し、成人世代の皆さんとも自由に交流できる部屋となるよう新たな事業を展開してまいります。

箕輪町誌について、初めての試みとしてデジタル・アーカイブ化を行ない、町誌の

インターネットを通じての閲覧利用を開始し、資料検索の利便性の向上を図ります。

また、箕輪町にふさわしい図書館づくりに向け、建設基金を積み立てると共に、財源の確保を含め、具体的な「**新図書館構想**」の検討を進めてまいります。

### 平成 25 年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	運動あそび推進事業 就園前、保育園、小学1・2年生への運動あそび 保小連携事業	6,483
継続	食育推進事業	227
継続	読育推進事業 みのわっ子絵本プレゼント、保育園図書購入費、読育推進事業	1,899
継続	保育園運営費 いきいき保育創出事業	1,000
継続	小学校英語学習プログラム(レシピ方式)の導入 共通の教材やカリキュラムを使い、各小学校の英語学習のレベルの平均化を図り、国際感覚や基礎的コミュニケーション能力を養う。	6,494
継続	英語指導外国人講師委託 外国人講師(中学校1人、小学校3人、保育園1人を配置)による英語遊び・授業を実施し、国際感覚を育み、低学年から英語に親しむ環境づくりを推進する。	25,515
継続	支援が必要な児童・生徒に対して支援員を配置し、安全・安心な学校生活を確保する。 平成25年度 10人 平成24年度 7人	20,073
継続	教育振興交付金 子どもの学力向上、教員の指導力向上、魅力ある学校づくりなど、学校の創意工夫を凝らした自立的な取り組みを支援する。	4,000
新規	スタディサポート事業 放課後学習指導員謝礼 500 千円 学力先進地視察・研修 1000 千円	1,500
新規	西駒ヶ岳遭難100年記念講演会及び記念誌	800

新規	通学路安全対策事業（小・中学校安全マップ作成ほか）	1,135
新規	教職員住宅外壁塗装工事	5,400
継続	元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業 （参加者 2007 人）	7,885
継続	公民館・博物館・図書館 三館連携事業 三館まつり、冬遊びイベント、大人の美術講座等の実施 みのわっ子クラブ（仮称）の実施	5,000
継続	文化センター自主事業委託料 日本の太鼓 in みのわ、公共ホール音楽活性化事業、子供映画上映等 渡辺貞夫ジャズフェスティバルコンサートの企画	4,277
継続	フェンシングによるまちづくりの推進 （財）地域活性化センターのスポーツ拠点づくり推進事業の助成を受け、箕輪町で開催する全国フェンシング カデ・エペ選手権大会が権威ある大会としての競技の発展と、町の活性化につなげる。	6,500
新規	博物館開館40周年記念事業	2,776
新規	古田人形整備交付金	1,000
新規	町誌デジタルアーカイブ化事業	600
継続	箕輪町図書館建設基金の積み立て	5,000

平成25年度の施政並びに予算編成方針の概要と、振興計画に掲げられた7つの政策に沿った主な事業の内容説明は以上のとおりであります。

## — 特別会計 —

### ❖ 国民健康保険特別会計

箕輪町国民健康保険特別会計につきましては、事業勘定の予算総額を21億9,630万9千円と定めるもので、前年度対比1.4%の減額であります。

被保険者数は3,456世帯、6,142人とし、前年度より21世帯、172人の減を見込みました。

国民健康保険は、医療保険体制の基盤をなす制度として、地域医療の確保と町民の健康増進に大きく貢献してまいりました。しかし、国民健康保険を取り巻く環境は、疾病構造の変化や医療技術の高度化による医療費の増加と、少子高齢化による被保険者数の減少により財政運営は厳しい状況であります。一般会計からの繰入金も法定基準内の繰り入れを基本とし、国保税の税率を据え置き、健全な財政運営を堅持してまいります。

また、特定健診・特定保健指導につきましては、平成24年度に見直した特定健康診査等実施計画に基づき、健診受診率等の向上に努め健康維持や生活習慣病の予防・早期治療を推進し医療費の抑制を図ります。

診療施設勘定については、予算総額を1億105万5千円と定めるもので、前年度対比6.5%の減額であります。

3月15日に東部診療所所長が交替となり、新たな診療方針に基づき診療が行なわれますが、所長が交替しても地域の医療を支える国保診療所の役割は変わるものではありませんので、引き続き在宅医療の推進による地域医療の充実と経営の安定化を図ってまいります。

なお、これまで土曜日を診療日とし水曜日を休診日としてきましたが、所長交替にあわせ、土曜日は休診とし水曜日を診療日とします。

### ❖ 後期高齢者医療特別会計

箕輪町後期高齢者医療特別会計につきましては、予算総額を2億1,540万3千円と定めるもので、前年度対比3.2%の増額であります。被保険者数を3,318人とし、前年度より38人の増を見込みました。被保険者は医療費から被保険者一部負担金を除いた残りの額の10%を保険料として負担いたします。

歳入の主なものは、保険料1億6,083万円と、低所得者の保険料軽減分及び徴収

事務費として一般会計からの繰入金であります。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金及び保険料の徴収、窓口業務に係る経費を計上いたしました。

引き続き長野県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、円滑な運営を図ってまいります。

## ❖ 介護保険特別会計

箕輪町介護保険特別会計につきましては、**予算総額を17億3,291万1千円と定めるもので、前年度対比4.7%の増額**であります。

第1号被保険者数を6,318人とし、前年度より109人の増を見込んでおります。

新年度は第5期介護保険事業計画（平成24年度から26年度）の2年目となります。年々、介護給付費が著しく上昇している傾向にあり、新年度は16億3,600万円余を見込みましたが、前年度より7,737万円、5%ほど増となりました。

第1号被保険者の介護保険料額につきましては、平成24年度から改定されており新年度の改定はありません。

介護保険給付準備基金からの繰入れは538万4千円を見込みました。

介護保険事業につきましては、適切な介護サービスの提供と介護保険料により、バランスのとれた施策の展開が必要であります。介護を必要とする方への支援と、介護が必要な状態になることをできるだけ予防する介護予防の両面から、事業の展開を進めてまいります。

## ❖ 水道事業会計

箕輪町水道事業会計につきましては**予算総額、収益的収支で4億9,540万4千円で、前年度対比0.4%の増額**であります。

資本的収支の収入では、2,549万8千円で、前年度対比35.4%の減、支出では、2億5,034万3千円で、8.2%の増となります。差し引き不足額の2億2,484万5千円は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金等で補てんするものであります。

上水道事業につきましては、町民の皆様が安全で安心して飲むことのできる良質な水の安定供給に引き続き努めてまいります。

建設改良事業につきましては、引き続き第5次拡張事業に基づき、配水管の新設、減圧弁設置、布設替を進め長田配水池の配水区域を拡大いたします。また、老朽化が

進んだ硬質塩化ビニール管等の老朽管の布設替工事を計画的に推進していきます。

安定経営のための経費の節減に努めるとともに一層の効率的経営に努力し、企業会計としての独立採算の原則を堅持してまいります。

## ❖ 下水道事業会計

かねてからの懸案事項でありました**下水道事業の公営企業化**を、いよいよ新年度から実施いたします。すでにご案内のとおり、多額の資本投資を行っているため、開始時点の固定資産総額は、218億円余にのぼり、この固定資産の減価償却費が毎年6億6,200万円、企業債償還金も6億6,200万円、企業債利子は2億6,400万円と高額な支出が予定されているのに対し、下水道使用料は3億2,800万円と経営としては大変厳しい予算編成となり、一般会計の繰入金は7億4,600万円となりました。

予算額は、収益的収支では、1.1億5,758万6千円、資本的収支の収入では、4億8,999万7千円、支出では、9億405万7千円となります。差し引き不足額の4億1,406万円は、当年度分消費税資本的収支調整額、1,772万9千円及び現年度分損益勘定留保資金、3億9,633万1千円で補てんするものであります。

管渠工事につきましては、ほぼ完了しておりますが、未普及箇所では緊急整備箇所につきましては随時工事を実施してまいりますとともに、加入率、接続率の向上に積極的に取り組みます。

安全・安心な町づくりに向けて、沢・大出地区の雨水排水路の設置工事を引き続き推進してまいります。

農業集落排水処理施設特別会計並びに公共下水道特別会計につきましては、平成24年度末をもって廃止いたします。

以上、各特別会計予算の編成概要を申し上げます。よろしくご審議ご決定くださるようお願いいたします。